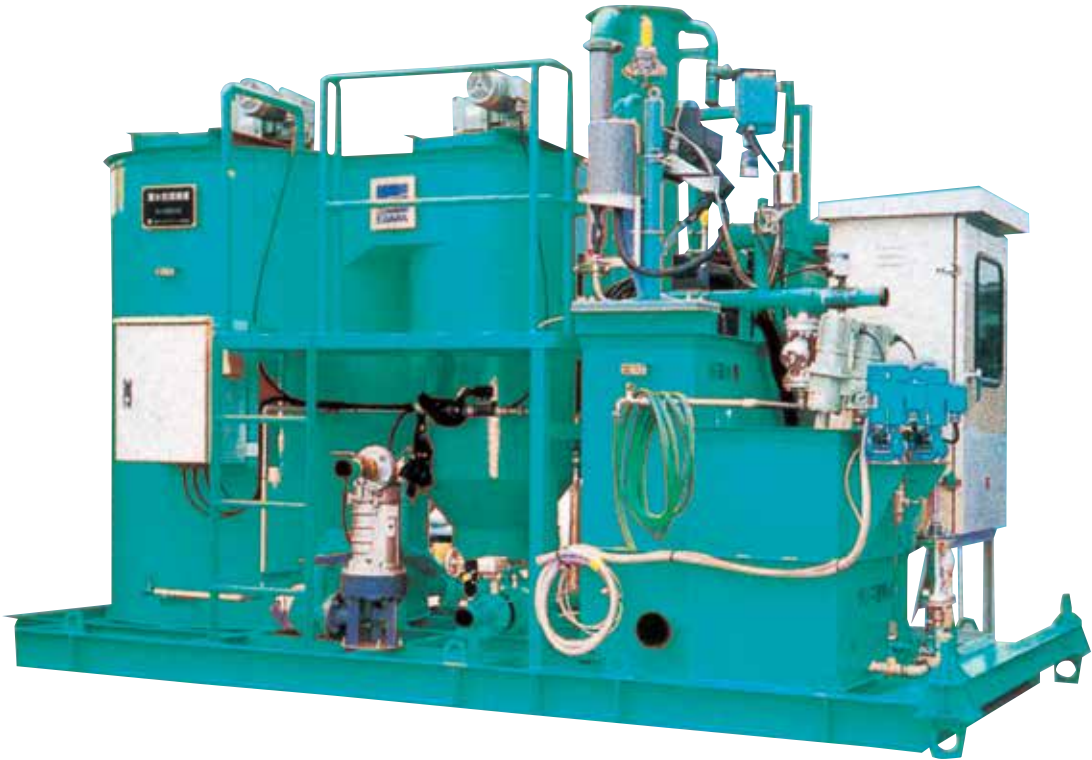


濁水処理システム

パッケージ形濁水処理装置 RDP型

10RDP/20RDP/40RDP/60RDP/100RDP



濁水処理システム

iii

原水水質 SS:1,000~5,000mg/ℓ pH11
 処理水質 SS:25mg/ℓ以下 pH5.8~8.6
 中和方式 炭酸ガス添加

コード	参考品	4310	4312	4314	4316			
メーカー		在原機電						
型式	10RDP	20RDP	40RDP	60RDP	100RDP			
				造粒槽スキット 処理水槽スキット	造粒槽スキット 処理水槽スキット			
処理量 m ³ /h	10	20	40	60	100			
寸法	全幅 W m	3.85	4.3	5.1	4.35	2.7	5.1	2.3
	全高 H m	1.8	1.9	2.3	2.0	2.1	2.3	2.9
	奥行 L m	2.58	2.58	3.25	3.53	2.48	3.65	2.7
装置質量(搬送時) t	2.9	3.35	5.1	4.3	1.35	5.4	2.7	
装置質量(運転時) t	7	8.6	14	15	5.08	22	6.8	
電源供給 V/V/kW	3相 200/220/8	3相 200/220/10	3相 200/220/20	3相 200/220/23		3相 200/220/25		
pH記録計付	○	◀	◀	◀		◀		
pH・濁度・流量記録計付	○	○	○	○		○		
PAC槽	(オプション対応)							

パッケージ形濁水処理装置 RDP型

10RDP/20RDP/40RDP/60RDP/100RDP

特長 (小形パッケージ)

I 高速の沈降分離

独特の凝集方式と造粒機構の採用により、従来装置の約15倍に及び高速の沈降分離を行います。大きな分離速度が得られるため、装置はきわめてコンパクトです。

II 安定した処理性能

スラリブランケットゾーンが高濃度のため、懸濁物の捕捉力が強く、処理水水質が良好で、原水の水量、水質の変動に対しても処理性能はきわめて安定しております。

III 経済性の向上

高速分離に加え、10/20/40RDP型は全ての機構を共通スキッド上に組み込み、コンパクト化された小形装置であるため、敷地面積がきわめて少なく済みす。また、工事の進捗状況に応じた装置の移動も容易です。

IV 優れた操作性

スタートアップが非常に早く、断続運転もスムーズに行えます。運転再開後は短時間で良好な水質が得られ、維持管理も容易です。

V 高濃度の排泥

排出スラリは造粒化により高い密度の粒子となるため、濃縮部での圧密性が高く高濃度で排出されます。従って、排出スラリ容量を少なくできます。

VI 炭酸ガス中和の採用

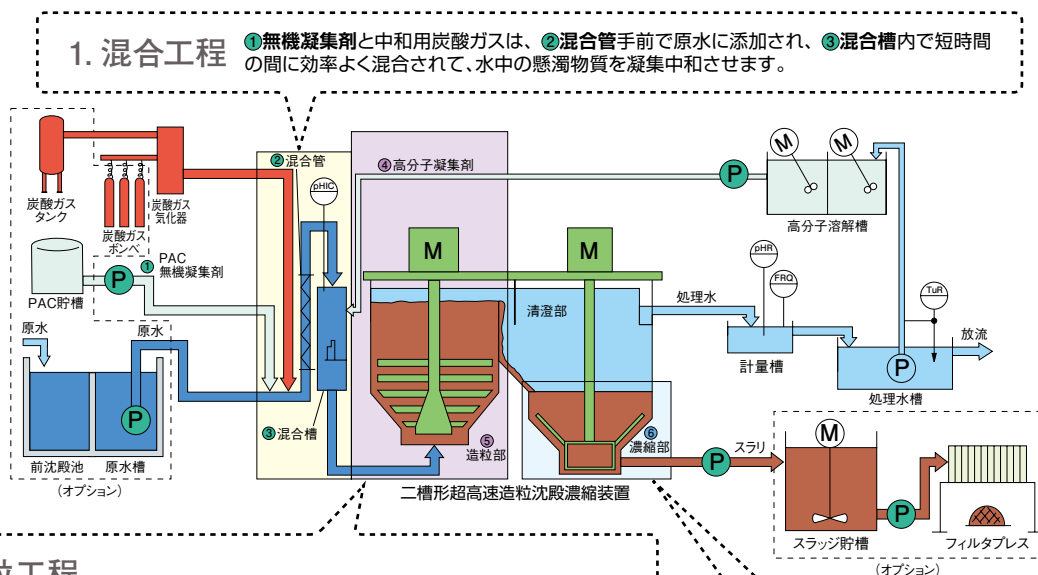
炭酸ガス中和は従来の無機酸中和に比べ反応時間が早く、pHの戻り現象も生じません。また、過剰注入の場合でもpHは放流基準値5.8以下になることはなく、運転管理上も安全、無害です。

濁水処理システム

iii

処理工程

本装置は懸濁物質の造粒・分離から濃縮までを一貫して行えるよう、機能的かつコンパクトに設計されています。



1. 混合工程 ①無機凝集剤と中和用炭酸ガスは、②混合管手前で原水に添加され、③混合槽内で短時間の間に効率よく混合されて、水中の懸濁物質を凝集中和させます。

2. 造粒工程

無機凝集剤の活性が最も強い時点で、有機④高分子凝集剤を添加し、⑤造粒部内で適度な回転力を与えると、懸濁物質は2種類の凝集剤の相乗効果と回転運動によって、緻密なペレットに造粒されます。造粒部内では、ペレットによる高濃度で、かつ安定なブランケット・ゾーンが形成され、微細なフロックは、ブランケット・ゾーンを通過する間に捕捉されます。このためキャリオーバーが少なく、処理水水質は非常に良好で安定しています。流入する原水中の懸濁物質は次々にペレットに造粒されるため、ブランケット・ゾーンはしだいに膨張し、ついには造粒部からあふれ出します。しかし、あふれ出した余剰のペレットは、沈殿槽の内壁に沿って沈降し、ブランケットの界面は常に一定レベルに保たれます。このためブランケット・ゾーンの膨張によって、大量のフロックがキャリオーバーするというようなトラブルはありません。したがってブランケット・タイプの処理装置の運転管理で、最も重要なブランケット・ゾーンの調節が不要となり、急激な処理水量の増減にも、安定した処理状態を保ちます。

3. 濃縮工程

造粒部からあふれ出した余剰のペレットは、移送による破壊を受けることなく、密度の高い状態のまま⑥濃縮部に直行するため、短時間の間に高濃度に濃縮されます。